



望洋台小だより



学校 HP

R5. 6. 26 No.4

(通算 555 号)

<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子
- 思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子
- 明るく健康な子
- 協力し働く子

『いじめ』問題について考える

校長 及川年彦

例年、この時期に全市で行われている「子どもたちの安心・安全を守るキャンペーン」が、「つなげる輪(わ) 広げる和(わ) 寄り添う話(わ)」というテーマのもと、今年も6月12日(月)から7月31日(月)まで行われています。すでに、安心メールにて「ちらし」を送付、学校ホームページにも掲載しておりますので、具体的な取組等についてはそちらをご覧ください。

今回は、改めて『いじめ』問題について考えてみたいと思います。いじめ防止対策推進法第2条にあるいじめの定義は次の通りです。

「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」

つまり、いじめられる側が「つらい」「嫌だ」と感じていたら、それは「いじめ」と定義されます。「いじられる」「ちょっかいを出される」などの言葉がありますが、これらはあくまでやるほうが楽しいと思っているだけです。いじめは「受け手」側の気持ちに立って考えることが大切なのです。

また、周りの児童生徒などが、「そんなことで」と考えていると、取り返しのつかないケースに陥ってしまう可能性もあります。さらにいじめの当事者だけでなく、いじめをすすめたり、傍観したりする行為も同様に許されないことです。いじめにおいて傍観者の態度も問題視されているのは、大多数の人がいじめを見て見ぬ振りをすることでいじめを容認する雰囲気を作り出されてしまうためです。

学校では、このいじめの定義に照らし合わせて、「**いじめ見逃し0(ゼロ)**」を目指し、未然防止・早期発見・早期対応の取組を組織的に行っていきます。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

終わりに、『学校を変える いじめの科学』（和久田学さん著）の本の内容の一節を紹介します。

「いじめの加害者にはモデルがいる」と言われています。子どもはいじめ加害行動をどこかで学んでいます。子どもの周りには大人たちは「子どもに見られている」ということです。やっぱり僕はいろいろな研究をしていくと、いじめ問題って結局「大人の問題」ではないかと思うんです。大人たちの世界で、ハラスメントやDVがなくなっていけば、子どもたちもこうやって解決すればいいんだって、こんな風に人を大事にしなきゃいけないんだって学ぶことができる。大人たち自身が変わることが一つ大事なことです。

子どもたちは、大人の言動から様々なことを学びます。「いじめ」について知らなければいけないのは、子ども以上に私たち大人なのかもしれません。

本校は今年度、開校40周年を迎えます！

ご協力ありがとうございました



6月3日（土）の午前中に開校40周年記念事業の花壇整備を行いました。当日は、小雨交じりの天気でしたが、約40人の保護者の方々や児童が集まり、学校周辺の花壇にマリーゴールド等のきれいな花を植えました。

「植えるのってけっこう楽しい！」「もっと植えたいな！」などの声も聞こえて来て、雨の中でしたが楽しく熱心に取り組むことができました。

PTA 事務局や事業部の皆様、当日までの準備や片付けまで、本当にありがとうございました。

今後は、水やりや雑草抜き等を行い、きれいな花壇を維持していきます。みんなで協力していきましょう。

相手の話を聞き、マナーを守る

6月14日（水）、15日（木）の2日間に、5年生の宿泊学習がありました。おたる自然の村で、自然に触れながら環境教育について詳しく学び、仲間と寝食を共にする経験を得ることができ、大変充実した時間を過ごすことができました。

子どもたちは、「相手の話をしっかり聞く」「施設内の約束を守って過ごす」ことができました。今回の学習で得た成果を日常の学校生活に生かすことはもちろん、次年度の修学旅行に是非生かしてほしいと思います。5年生のみなさん、お疲れ様でした。



うれしいお知らせ

先日、学校に地域の方からうれしい連絡が入りました。校区内で車を運転中に横断歩道で低学年の子どもたちが横断するので、車を停止したところ、子どもたちが運転手に向かって頭を下げてお礼をしてくれたということです。地域の方は、この行為に大変感動され、学校に連絡を入れてくれました。きっと、巻頭言にあるようにこのようなよい行いも、子どもたちは身近な大人から学んでいるはず。我々教職員も、「子どもの範」となることを忘れずにいきたいと思います。

あわせて、夏になり、外で遊んだり、自転車に乗ったりする機会が増えます。交通安全についても、子どもたちに指導していきます。



いじめアンケートの結果から

6月上旬に、いじめ把握のためのアンケート調査を実施しました。今回の望洋台小学校での「いじめられた」の認知は**37件**でした。各担任は、アンケート結果を基に、子どもたちから詳しく話を聞き、必要に応じて当該児童と話し合ったり、保護者の方へ連絡したりしております。表面に記載しておりますが、いじめられる側が「つらい」「嫌だ」と感じていたら、それは「いじめ」と定義されます。このことを前提として学校では、いじめに関わるさまざまな問題に対応、未然防止に努めています。アンケート結果以外でも、お子さんが何か嫌な思いをしていたり、悩んでいたたりした時はすぐに連絡をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。